2020年3月

受益者の皆様へ

ファイブスター投信投資顧問株式会社

投資信託約款の変更（予定）に関する書面決議のお知らせ

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、追加型証券投資信託「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・ファンド」（以下「当ファンド」といいます。）が主要投資対象とする親投資信託「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます。）につきまして、下記の通り投資信託約款の変更を予定しておりますのでお知らせいたします。

このお知らせは、「投資信託及び投資法人に関する法律」（以下「投信法」といいます。）の規定に基づく法定手続きの一環として、対象となる受益者（本件では、マザーファンドを主要投資対象とする当ファンドの受益者を対象としております。）の皆様にお送りするものです。

この投資信託約款の変更につきましては、投信法の規定に従い、書面による決議（以下「書面決議」といいます。）をもって行います。つきましては、本書面および本書面4ページ以降の「書面決議参考書類」をお読みいただき、本議案（投資信託約款の変更）に対する賛否および必要事項を、同封の「議決権行使書面」にご記入のうえ、弊社までお送りください。

なお、本議案について議決権を行使されない場合（議決権行使書面のご返送がない場合）は、投資信託約款の規定に基づき賛成されたものとして取り扱われますので、本議案に賛成の受益者の方は、書面決議に関する手続きをされる必要はございません。

何卒、ご理解賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

敬具

記

1. 予定している変更の内容および理由

当ファンドは 2015 年 8 月 28 日に設定され、現在までデータセクション株式会社と共同で AI（人工知能）を用いてビッグデータを分析し、その分析結果を有効活用する形でファンド運用を行ってまいりました。しかし、この 5 年間でビッグデータ分析や AI に関する事業環境が大きく変化し、将来を見据えた新たな運用体制の確立が必要となって参りました。

そこで、人間の知見と AI・ビッグデータ分析の強みの最適融合を通じたリターン向上を目的とし、この度、株式会社 Link-U と協力することとなりました。これに伴い、マザーファンドの運用方針を整備し、かかる変化に対応した投資信託約款に変更することといたしました。

☆本議案が可決となった場合、以下の約款変更（重大な約款変更には該当いたしません。）をあわせて行う予定です。

・当ファンド名称およびマザーファンド名称の変更

当ファンド名称を「MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・ファンド」に変更

マザーファンド名称を「MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド」に変更

※詳細は、「書面決議参考書類」の投資信託約款変更案をご覧ください。

*相手先の概要

(1)	名 称	株式会社 Link-U		
(2)	所 在 地	東京都千代田区神田駿河台四丁目 4 番 1 号 4F		
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松原 裕樹		
(4)	事 業 内 容	サーバープラットフォーム事業		
(5)	資 本 金	469 百万円		
(6)	設 立 年 月 日	2013 年 8 月		
(7)	大株主及び持株比率	松原裕樹(34.5%)、山田剛史(34.5%)、他		
(8)	当 社 と 当 該 会 社 と の 間 の 関 係	資 本 関 係	該当する項目はありません。	
		人 的 関 係	該当する項目はありません。	
		取 引 関 係	該当する項目はありません。	
		関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当する項目はありません。	
(9)	当該会社の最近 3 年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2017 年 7 月期	2018 年 7 月期	2019 年 7 月期
	純 資 産	341,647 千円	551,715 千円	1,475,041 千円
	総 資 産	577,399 千円	729,002 千円	1,781,181 千円
	1 株 当 たり 純 資 産	82.92 円	131.24 円	331.10 円

売 上 高	628,803 千円	610,247 千円	1,085,759 千円
営 業 利 益	278,318 千円	207,115 千円	398,721 千円
経 常 利 益	279,424 千円	211,082 千円	389,982 千円
当 期 純 利 益	166,267 千円	149,168 千円	272,131 千円
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	40.36 円	36.00 円	64.57 円
1 株 当 たり 配 当 金	0 円	0 円	0 円

2. 投資信託約款の変更に係る書面決議の日程

- ①書面決議の対象受益者の確定日 : 2020年3月12日(木)
- ②書面による議決権の行使の期間 : 2020年3月24日(火)から2020年4月22日(水)まで
- ③書面決議の日 : 2020年4月23日(木)
- ④投資信託約款変更適用日(予定) : 2020年5月28日(木)

3. 書面決議の方法について

書面決議の手続きは、マザーファンドを主要投資対象とするファンド(MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・ファンド)の受益者を対象とします。2020年3月12日現在の受益者(2020年3月11日までに取得申込みをされた方)は、同封の「議決権行使書面」に、当ファンドの投資信託約款の変更について賛成または反対される旨およびお名前、ご住所、2020年3月12日現在で保有されている受益権口数等の必要事項をご記入のうえ、下記宛にご送付ください。2020年4月22日(水)弊社到着分までを有効とさせていただきます。

なお、本決議におきまして議決権を行使されない場合(議決権行使書面をご返送いただかない場合)は、投資信託約款の規定に基づき賛成されたものとして取り扱われますので、本議案に賛成の受益者の方は、書面決議に関する手続きをされる必要はありません。

送付先

〒104-0042 東京都中央区入船1丁目2番9号 八丁堀MFビル8階
ファイブスター投信投資顧問株式会社 業務管理部 宛

(ご留意事項)

- ・ 同一の受益者の方が本決議につきまして、重複して議決権を行使された場合で、議決権の行使の内容が異なる場合は、すべての議決権に関して無効とさせていただきますのでご了承ください。
- ・ 議案についての賛否を記載する欄に記載がない議決権行使書面をご提出された場合は、賛成するものとさせていただきます。
- ・ お手続きにあたり、お客様に関する個人情報を販売会社と共有することにご同意いただいたこととしますのでご了承ください。なお、当該手続きに伴い弊社が取得したお客様に関する個人情報は、本書面決議を行うために利用し、他の目的には使用しません。

4. 書面決議（投資信託約款の変更の決定）について

本書面決議は、2020年3月12日現在の受益者様の議決権の3分の2以上の賛成をもって可決されます。この場合、予定どおり2020年5月28日付けで投資信託約款の変更を適用いたします。

また、上記の議決権口数による賛成を得られず本書面決議が否決された場合には、投資信託約款の変更は行いません。この場合、その旨を速やかに受益者様にお知らせいたします。

なお、当社ホームページ上（<http://www.fivestar-am.co.jp>）において書面決議の結果をお知らせいたします。

5. 反対受益者様の買取請求権について

当ファンドは、投資信託約款の規定に基づき、換金をご希望する反対受益者様には解約の方法をとっていただくとし、買取請求にはよらないことといたします。

お問い合わせ窓口

ファイブスター投信投資顧問株式会社 お客様デスク

電話：03-3553-8711

（受付時間：営業日の午前9時～午後5時まで）

以上

書面決議参考書類

1. 投資信託約款の変更（案）

以下は、本議案（重大な約款変更）のほか、議案が可決となった場合にあわせて行う予定の約款変更（重大な約款変更には該当いたしません。）を含んだものです。

「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・ファンド」投資信託約款

下線部_____は変更部分を示します。

（以下の変更は重大な約款変更には該当しません）

変更後	変更前
<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSU・Link-U・</u> <u>ビッグデータ・ファンド</u></p> <p style="text-align: center;">運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象</p> <p><u>MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、我が国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。なお、我が国の金融商品取引所上場株式ならびに短期金融商品に直接投資することもあります。</p> <p>（中略）</p> <p>【有価証券および金融商品の指図範囲等】</p> <p>第 17 条 委託者は、信託金を、ファイブスター投信投資顧問株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された<u>MASAMITSU・Link-U・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第 2 条第 2 項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <p>（以下、略）</p>	<p><ファンド名></p> <p style="text-align: center;"><u>MASAMITSUデータセクション・</u> <u>ビッグデータ・ファンド</u></p> <p style="text-align: center;">運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(1) 投資対象</p> <p><u>MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下「マザーファンド」といいます。）の受益証券への投資を通じて、我が国の金融商品取引所上場株式に実質的に投資します。なお、我が国の金融商品取引所上場株式ならびに短期金融商品に直接投資することもあります。</p> <p>（中略）</p> <p>【有価証券および金融商品の指図範囲等】</p> <p>第 17 条 委託者は、信託金を、ファイブスター投信投資顧問株式会社を委託者とし三井住友信託銀行株式会社を受託者として締結された<u>MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド</u>（以下、「マザーファンド」といいます。）の受益証券、ならびに次の有価証券（金融商品取引法第 2 条第 2 項の規定により有価証券とみなされる同項各号に掲げる権利を除きます。）に投資することを指図することができます。</p> <p>（以下、略）</p>

「MASAMITSUデータセクション・ビッグデータ・マザーファンド」投資信託約款

下線部_____は変更部分を示します。

I. (以下の変更は重大な約款変更には該当しません)

変更後	変更前
<p><ファンド名></p> <p><u>MASAMITSU・Link-U・</u> <u>ビッグデータ・マザーファンド</u></p>	<p><ファンド名></p> <p><u>MASAMITSUデータセクション・</u> <u>ビッグデータ・マザーファンド</u></p>

II. (以下の変更は重大な約款変更には該当します)

変更後	変更前
<p>運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>① わが国の上場銘柄を投資対象とし、特定のテーマやセクター等に限定しません。また、バリュー株・グロース株のいずれも投資対象とします。</p> <p>② 「<u>データ配信</u>」と「<u>AIソリューション</u>」に強みを有する(株)Link-Uと共にソーシャルデータ(非数値データ)や各種経済データ(数値データ)の分析・解析を行い、それを運用者の知見と最適に融合させることで、<u>ファンドリターンの極大化を目指します。</u></p> <p>③ <u>ポートフォリオ構築は、株価上昇が見込まれる株を買付け、株価下落が見込まれる株を売付ける、株式ロングショート戦略を基本とします。また、銘柄選定は各種データの分析・解析の結果に基づき、ファンドマネジャーによる個々の企業の成長性・安定性・収益性を網羅したボトムアップリサーチにより選定します。</u></p> <p>(以下、略)</p>	<p>運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>① わが国の上場銘柄を投資対象とし、特定のテーマやセクター等に限定しません。また、バリュー株・グロース株のいずれも投資対象とします。</p> <p>② <u>ビッグデータ分析における長年の業暦とトップクラスの実力を誇るデータセクション(株)と共同開発しました、各種経済データ(数値データ)やソーシャルデータ(非数値データ)を含む世の中の種々多様なデータであるビッグデータを分析する株価予測システム「ビッグデータ分析システム」を利用して、投資機会の極大化・投資タイミングの最適化を図ってファンドリターンの極大化を目指します。</u></p> <p>③ <u>ポートフォリオ構築は、株価上昇が見込まれる株を買付け、株価下落が見込まれる株を売付ける、株式ロングショート戦略を基本とします。また、銘柄選定はビッグデータ分析システムを軸にファンドマネジャーによる個々の企業の成長性・安定性・収益性を網羅したボトムアップリサーチにより選定します。</u></p> <p>(以下、略)</p>

2. 受益権の内容の変更または受益権の価値への影響の内容および相当性

本変更は該当事項はありません。

3. 投資信託約款の変更がその効力を生ずる日

2020年5月28日

4. 投資信託約款の変更の中止に関する条件を定めるときは、その条件

本書面決議において、議決権を行使することができる受益者の議決権の3分の2以上に当たる賛成を得られない場合には、本投資信託約款の変更は中止されます。

5. 投資信託約款を変更する理由

当ファンドは2015年8月28日に設定され、現在までデータセクション株式会社と共同でAI（人工知能）を用いてビッグデータを分析し、その分析結果を有効活用する形でファンド運用を行ってまいりました。しかし、この5年間でビッグデータ分析やAIに関する事業環境が大きく変化し、将来を見据えた新たな運用体制の確立が必要となって参りました。

そこで、人間の知見とAI・ビッグデータ分析の強みの最適融合を通じたリターン向上を目的とし、この度、株式会社Link-Uと協力することとなりました。これに伴い、マザーファンドの運用方針を整備し、かかる変化に対応した投資信託約款に変更することといたしました。

6. 投資信託約款の変更に関する事項について受益者の不利益となる事実

本変更は該当事項はございません。

以上

補足説明資料 Q&A

Q.1 この書面「投資信託約款の変更（予定）のお知らせ」は何ですか？

A.1 当ファンドおよびマザーファンドの投資信託約款を変更する予定であることをお知らせするものです。「投資信託及び投資法人に関する法律」により、投資信託約款を変更する場合で、その内容が同法の規定により重大とされるものについては、この書面を受益者に対して交付を行うことが義務付けられております。親投資信託の投資信託約款がその対象となる場合、通常当該親投資信託を投資対象とするすべてのファンドの受益者の皆様に対して行います。

Q.2 なぜ投資信託約款の変更を行うのですか？

A.2 当ファンドは2015年8月28日に設定され、現在までデータセクション株式会社と共同でAI（人工知能）を用いてビッグデータを分析し、その分析結果を有効活用する形でファンド運用を行ってまいりました。しかし、この5年間でビッグデータ分析やAIに関する事業環境が大きく変化し、将来を見据えた新たな運用体制の確立が必要となって参りました。

そこで、人間の知見とAI・ビッグデータ分析の強みの最適融合を通じたリターン向上を目的とし、この度、株式会社Link-Uと協力することとなりました。これに伴い、マザーファンドの運用方針を整備し、かかる変化に対応した投資信託約款に変更することといたしました。

Q.3 何か行動を起こす必要はありますか？

A.3 マザーファンドの投資信託約款の変更のうち、「投資信託及び投資法人に関する法律」の規定により重大とされるものについては、同法の規定に従い書面決議を行い、その決議をもって実施する必要があります。書面決議の対象となる投資信託約款の変更について、ご同意いただける場合は、特にお手続きをいただく必要はございません。書面決議の対象となる投資信託約款の変更について、反対される場合には、同封の「議決権行使書面」に、反対のご意向等の必要事項をご記入のうえ、弊社までご送付ください。送付先等の詳細については、書面『投資信託約款の変更（予定）のお知らせ』をご覧ください。

Q.4 書面決議とはどのようなものですか？

A.4 書面決議は、議決権を行使することができる受益者（2020年3月12日（木）現在の当ファンドの受益者の皆様）の議決権口数（2020年3月12日（木）現在の当ファンドの受益者の皆様の口数合計）の3分の2以上の賛成をもって可決されます。前記の議決権口数による賛成を得られず、本決議が否決された場合は、当ファンドおよびマザーファンドの投資信託約款の変更の手続きはすべて行いません。なお、本決議におきまして議決権を行使されない場合（議決権行使書面をご返送いただかない場合）は、賛成するものとさせていただきます。

Q.5 書面決議行使期間中でも当ファンドの換金はできますか？

A.5 書面決議行使期間中におきましても、また、書面決議の対象となる投資信託約款の変更について反対のお申立てをされたか否かに関わらず、通常の一部解約請求等によるご換金の受付を行います。

以上